

カタロ通信

<http://www.e-kitazawa.com/>

VOI. 173
2012年 7月号

㈱北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL : 0297-60-1333
FAX : 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL : 0297-60-1666
閉館日 : 水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味 café 空~くう~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL : 0297-63-0730
定休日 : 水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号



つくば市 O様邸 間もなく完成

北澤工務店&甘味Café 空~くう~ から

◆ 7月 空のミニショップは・・・

「陶創作・万鈴 / フラワースマイル」 ~ 陶器・フリーズドフラワー

「ショップ nakaoka&nihei」 ~ 人形・パンフラワー

◆ 空くう夏季限定メニュー始めました。(裏側に記載してます。)

◆ ホームページをリニューアルしました。



どうぞ <http://www.e-kitazawa.com/> までアクセスください。

つくば市 I 様邸 完成！



変木を使った玄関外柱

つくば市 I 様邸が完成し、6月吉日お引き渡しをさせて頂きました。
バルコニーには、I 様がデザインしたこだわりの木製手すりを取り付けました。



クールーフ（天然玄昌石）が引き詰められた玄関床に、焼き杉の腰板がお迎えする玄関。

すのこ状の天井は、屋根の勾配を利用した中2階コンテナルームの渡り廊下になっています。

玄関を上がれば、ワンフロアに感じる室内ですが、北澤工務店オリジナル建具で仕切れることもでき、冷暖房効率もアップ。



造作キッチンと食品庫スペース



北澤工務店ならではの大工さん造作キッチンから、どこにいても、家族を感じることができるようになっています。

お客様のご要望で、下駄箱側面に換気口を取り付け、洗面所とは別に、手洗い場を設けました。

来客時、「手を洗わせて！」と、生活感あふれる洗面所を見せなくてすみますね！

2階フリースペースは子供が遊ぶのに最適！

将来部屋に仕切れることもできます。

2階パウダールームは引き戸で仕切られすっきり。

テレビ台やパソコン台も大工さんの手作り。各部屋に大容量の収納スペースもあります。

外・内壁は無添加住宅オリジナル漆喰を塗り、家族と環境に優しく、木の匂いに癒される自然素材の家の完成です。

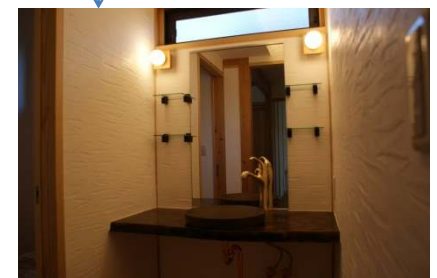


階段踊り場と、奥はコンテナルーム



下駄箱側面換気口 →

手洗いコーナー



2階フリースペース



7月になりました。一年の半分が過ぎてしまった！！
いかがお過ごしですか。

《45歳の充足》

諸先輩からすれば『まだまだ若い』『まだまだ早い』『まだまだ・・・』と指摘されるかもしれないけれど、今回は勇気を出して？45歳の充足を書いてみたいと思います。

《言葉との出会い》

ある研修会社の講演テープを何度も何度も繰り返し聴いていたのは今から15年前、30歳のころ。いまも師と仰ぎ学ばせていただいている行徳哲男先生の講演もその中に収録されていました。あのドスの効いた独特な声。何度聴いても涙があふれました。他にも加ト吉の加藤社長やアシックスの鬼塚社長を始め、名だたる経営者の講演が収録されていました。その中のひとつに一燈園の石川洋先生の講演がありました。静かな口調ながらも激しく命を燃やすような、そんな気迫を感じる講演テープでした。

その中に、こんな言葉がありました。

『饅頭屋は、饅頭を切っ先にして、社会を見、世界を見るんです。整備工は、整備の仕事で切っ先にして、社会を見、世界を見るんです。』

フムフムなるほど、、、どんな仕事にも意味があるということか、なるほど。。

《仕事が好きじゃなかった頃》

二代目社長ってのは往々にしてたぶん、仕事への動機づけが弱い。創業者は違う。経済的理由とか家庭の事情とか得意分野とかいろいろなことがあるにしても、仕事に向かう原動力がある。二代目社長はそこが弱い。ほく自身がそうだった。父が販売店をしていたらそうになっていたろうし、製造業をしていたらそうになっていたに違いない。当時バブル時代の学生だったほく自身を動機付けるような魅力的な仕事は、どこにも見当たらなかった。『マネーゲーム、カネがすべて』の時代にうんざりしていたし、生きることにそのものに意味を見い出せないほどに弱っていた。

いろいろな理由をつけて父の会社に入って『専務』と呼ばれ、それでもなんとかがんばろうとあちこち出掛けて勉強もした。

仕事そのものに対する動機づけが弱いから、会社を大きくするとか、会社を新しくするとか、社員の福利厚生を良くしてご機嫌をとるとか、そんなところにはばかり目が行って父と激しくケンカした。だから当然ながら仕事が好きになれなくてですねー(笑)やっば『なにセムム』だったと思います、あの頃。

《時の渦中で》

『一苦労二楽三つづし』(創業者の苦労を二代目が遊んで楽しんで三代目がつぶすってこと)とか、『ルールが敷いてある上を歩く』とか、『ぼんぼん』とか、まあ！！ととにかく二代目に対する世間様の目線は好意的でないですわ(笑)確かにそういう面はありますしね、苦労知らずと言われれば『おっしやる通りです』から。。。 (笑)特にほくは『他人の飯を食う』(外の会社で経験を積むということ)ことをせず、大学卒業後すぐに父の会社に入りましたから、社員大工や外部の職人から背中越しに『アッカンベー！』をたくさん感じた。というか、はっきりと言葉で言われた。『他人の飯を食わないやつはダメだ。使われる身の気持ちかわからない』『大学出たってなにできない』『セムムなんてどーせわかんないん

だからこんなもんでいいよ』云々。職場の人間関係も父との関係性も、そして仕事に対する自分の人生そのものも、全くかみ合ってなかったなあ。

でも、揺るぎない真実が一つだけあった。

それは、『求めている』ということ。自分がほんとうにしたいことを『求めている』。この人生をかけて命を燃やせるほどの仕事を『求めている』。使命の言葉の如くその対象を『求めている』。

《いのちの産声》

数々の自己啓発セミナーや経営セミナーに多額のお金と時間をつぎ込み、学んだ。そんなほくがやっとな仕事に対する『いのちの産声』をあげたのは、39歳の時。一般的に考えると(そもそも一般的ってないと思いますが・笑)エンジンがかかるとがめっぽう遅かった感もあるのですが、とにかく命が震え上がるほどの欲求が突然湧き上がってきた。場所は新宿駅南口の改札を出た柱の横のあたり。。。何度か書いている岡部明美さんに泣きじゃくりながら即電話した。『あけみちゃん、おれ、わかった！！』って。

この時、ぜ〜んぶつながったんです。それまで生きてきたプロセスがつながった。陰も陽も、この瞬間のために必要だった。なんでほくは父の経営する工務店の後を継いだのか、なんで北澤工務店は公共工事もせず、下請け工事もせず、店舗もアパートせず、流行の家づくりもせず、木造の注文建築だけをやってきたのか、その意味と価値が、わかった。

それは、『家づくりの先に在るもの』がはっきりと見えた瞬間だった。前出の一燈園の石川洋先生の言葉が『ストーン！』と腑に落ちた。とても鮮明で具体的だった。。。その『家づくりの先に在るもの』は、何度かこのひとりごとにも書いていますので割愛させていただきますね。

《45歳の充足》

40歳代、最高です。それはなんと言っても、自分の人生の上に、どっかりと、『仕事』が乗ったから。それに尽きる。『仕事』が楽しくて仕方ない。それまでは、人生と仕事別々にあった。乗っかるところか、離れていく感さえあった。おれのしたいことは別にある、って思っていた。

相変わらず日常は凸凹だし、一喜一憂しては感情のジェットコースターをやらかしている日々だけれども、でもいまのほくは、うまくいかないことや問題や障害にさえも意味や価値を見い出そうとするんだ。だから問題や障害もオッケー、凹むことだっていいじゃない！！って思える。(全部が全部じゃないですけどー！笑)

社員や職人ともたぶん、関係性は以前よりもはるかに良好になったと思う。現場の成長ぶりがそれを如実に現している。

そして、そのプロセスを経て、両親との和解があった。(これも何度も書いてますね！笑)

両親と和解し、もう一度つながることができるということは、『いのちがつながる』ということだと思ふ。両親が生きているかどうかはこの時どうでもいい。両親をまるごと全部受け入れることができた時、ひとはほんとうの意味で命を輝かせ、生きるチカラが湧き上がってくるのではないかと思ふ。

『いのちがつながり、自分の人生の上にどっかりと仕事に乗っかる。』

これがほくにとっての『45歳の充足』です。



カトロ プリザーブドフラワー教室

日時: 7月 21 日(土) 13:00~15:00
23 日(月) 10:30~12:30

体験できます。(3,000 円おひとり様 1 回限り)

*フラワーギフト・おむつケーキお作りします。

趣味・資格・加工・ブーケなど各コース有

楽しい
レッスン
一緒に
しませんか。



お問合せ・お申込み:

花あとリエシェリー ・ 片岡 090-7267-4498

HP <http://ameblo.jp/pfcherie/>

カトロ 韓国語講座

日時: 7月 9日(月)・30日(月)
10:00~11:30

会費: 3,500 円

講師: 邊 美仙

韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。



お問合せ・お申込み

篠崎 080-5543-7489

空

期間限定! 夏メニュー始めました。

空 ~くう~ 夏季限定メニューはじめました。

- ・ サラダうどん
- ・ かき氷
- ・ 冷やしぜんざい



冷やしぜんざい

単品 450 円

お得なセットメニューもあります。



サラダうどん (一日 10 食限定)
900 円 (甘味・飲み物付き)



空氷 550 円

ミニ 400 円



いちご氷 450 円

ミニ 300 円

暑い夏は、「空~くう~」で、ゆっくり、のんびりしちゃいませよ!

ぽちゃぽちゃミセスの子育て日記

雨の日、幼稚園お迎え事件。

娘が最近傘を差したがっていましたが、いつもように合羽を持って、私は傘を差し幼稚園にお迎えに行きました。

合羽を着て私の傘を差したいと持って、一人で車まで行こうとしています。最初は濡れるから入れてと言っていたが、腰を曲げ一緒に傘に入るのは辛く、濡れながら歩きました。娘は傘を差し上機嫌。強い雨に濡れ、私は超不機嫌。だんだんイライラが募り、家に帰ってぶち切れ。「お前には優しさがない!!」と怒鳴ると、怒られたので泣きながら「優しさはある!!」と猛反撃。「ママが雨に濡れているのに傘を貸してくれないで、どこに優しさがある?!?!」「ここに優しさはある!!」と、おでこを差しながら言っていました。「え?・・・」おかしくて笑ってしまいました。

おバカなのはママです。雨に濡れたくらいで、子供に腹を立て、傘を差したがっていたのに傘を忘れ(まだ、危ないかなという思いもあってこの日はあえて持って行かなかった)上機嫌の娘を怒鳴りました。ごめんなさい。

それから「頭のとっぺんはおりこうで、おでこには優しさがあるんだよ」と、お姉ちゃんやおばあちゃんに教えていました。「子どもがいないと笑えないね!」とおばあちゃん。子どもが 1 人いるだけでその場が本当に明るく、癒される空間になりますね。子どもの気持ちになって子育てしなきゃなあと思いました。

親の気持ちを押し付けちゃいけないね。安全を考え、どこまで子供の気持ちに添っていけるかが大切ですね。まだまだ未熟なぽちゃぽちゃミセスこと黒木直江でした。